■山田風太郎 伝奇小説・推理小説に優れ、「忍法帖」でブーム。文壇から離れて、独特なドキュメンタリー作品も遺した。

やまだふうたろう

水平社結成・1922=

兵庫県養父郡関宮村で、代々庄屋で、医者の子に生まれる。本名は山田誠也。父は軍医であったが、様々な事情から、関宮の土岐医院を継いでいた。

治安維持法・1925= 3歳:

この年の北但大地震と、父母ともに、代々続いた医者の家系で、戸籍上は三男だが、兄は二人とも夭折していたため、**恵まれた環境で、大事に育てられるが、**

金融恐慌・1927= 5歳:

北丹後大地震に驚く一方、移転拡大して山田医院になった直後、**父が往診中、脳溢血で急逝。**

共産党事件・1928= 6歳:

父の死後、妹昭子が誕生。

世界恐慌・1929= 7歳:

関宮尋常小学校に入学。成績も良く、気を遣う祖父(母の父)の意向で、

満州事変・1931= 9歳:

諸寄村の母の実家に転居し、諸寄小学校に転校。{少年倶楽部}を購読し始め、

国際連盟脱退1933=11歳:

母が、医学部を卒業した叔父(父の弟)孝と再婚して、父の医院を再開。関宮小学校に戻り、担任の先生を父のように慕って、放課後は、先生の下宿に遊びに行く毎日。

芥川直木賞始1935=13歳:

兵庫県立豊岡中学に入学。寮生活始まる。

二二六事件・1936=14歳:

母が肺炎で急逝して、心の拠り所を失い、以後10年間は、思い出したくない記憶で、

日中戦争始・1937=15歳:

自暴自棄になり、酒とタバコに依存、悪友と悪事を働いて、成績も急落し、停学2回。

第二次大戦始1939=17歳:

心の空白を埋めようと、学校の文芸誌{達徳}に、小説や詩を発表、表紙絵やカットも描き、大政翼賛会・1940=18歳:周囲の意向で、松山高校受験するも失敗、**{映画朝日}に投稿して採用されたエッセイ「中学生と映画」で、初めて、不良仲間符條からのペンネーム風太郎を用い、{受験旬報(蛭雪時代)}の懸賞小説に応募するや、「石の下」が1等、以後入選8回とあまりの集中に、一度ペンネームを変えたというほど、天才ぶりを発揮。**

日米開戦・1941=19歳:

松本高校の受験にも失敗、叔父は再婚して、生家には居づらく、家出同然に上京するも、金尽きて戻る。

1942=20歳:

戦時下のため、職安の斡旋で{沖電気}入社を決めた後、上京。日記をつけ始める。

年金+総武装 1944=22歳:

召集されるも、肋膜炎のため入隊を免れ、東京医学専門学校に合格。**読むべき本を分類してリストアップ、読んだものにはチェックを入れる「読書余瀝」を作成し始める。**

敗戦・1945=23歳:

空襲で山形に避難。佐藤啓子と出会う。医専に従い信州飯田に疎開。敗戦で帰京、会社先輩の家に下宿。

新憲法公布・1946=24歳:

岩谷書店により**創刊された探偵小説専門誌{宝石}の懸賞小説に二編応募し、「達磨峠の事件」が入選、江戸川乱歩の知遇を得るとともに、発奮させられ、**

新憲法施行・1947=25歳:

以後、様々な雑誌に次々と発表。{旬刊ニュース}が読者投票で選ぶ作品コンクールで「虚像淫楽」が1等、

極東裁判判決・1948=26歳:

岩谷書店から**早くも、最初の作品集「眼中の悪魔」が刊行される**

三大事件・1949=27歳:

東京医科大学卒業。三軒茶屋に家を借りる。「**眼中の悪魔**」「**虚像淫楽**」が、**第二回探偵作家クラブ賞短編賞を受賞。以後、乱歩に私淑、文壇には関わらない。**

朝鮮戦争始・1950=28歳:

インタビュー終了するも医者にはならず、**専業作家になり、新人探偵作家の会{鬼クラブ}を結成、同人誌{鬼}を発行、高木彬光とは、生涯の友になる。少年雑誌に、少年向け読み物も発表し始め、**

独立回復・1951=29歳:

彬光には麻雀を教えられ、酒に女にと、相変わらず奔放な生活を送っていたが、

TV放送始・1953=31歳:

佐藤啓子と結婚。

自衛隊発足・1954=32歳:

長女佳織誕生、以後13年、育児日記。**奇想に満ちた「妖異金瓶梅」後、雑誌に発表しては単行本化、**

55年体制始・1955=33歳:

作品集「悪霊の群」、「盲僧秘帖」「死者の呼び声」「新かぐや姫」「蓮華盗賊」、

国連加盟・1956=34歳:

練馬区西大泉に新築転居。「二十世紀怪談」「怪談部屋」「満員島他」。**書き下ろし長編「十三角関係」、**

なべ底不況・1957=35歳:

長男知樹誕生。「山刃夜叉」「妖説忠臣蔵」「泣きじゃくる悪魔」、

心臓カテーテル・1958=36歳:

「女人国伝奇」「落日殺人事件」「誰にも出来る殺人」「白浪五人帖」「臨時ニュースを申し上げます」「首」、児童向けミステリ「笑う肉仮面」。**{面白倶楽部}に「甲賀忍法帖」の連載開始、独創的な忍法帖シリーズが始まる。**

美智子妃・1959=37歳:

「**秘紗金瓶梅**」は前作とともに、**トップクラスの完成度。**

安保闘争・1960=38歳:

時代ミステリー「おんな牢秘抄」。

イタイ病始・1961=39歳:

「**くの一忍法帖**」

全国総合計画1962=40歳:

{岩手日報}に、「尼寺五十万石」連載開始(のち改題し「柳生忍法帖」)。

TV宇宙中継始1963=41歳:

長野県蓼科に別荘を建てる。**最後の長編ミステリー「太陽黒点」は特異な作品。「信玄忍法帖」「風来忍法帖」など含む「山田風太郎(以下、名は省略)忍法全集(全十五巻)の刊行が始まり、一大忍法ブーム、**

東京リビック 1964=42歳:

妖異小説」全六巻、「奇想小説全集」全六巻が相次いで刊行、その1冊「男性週期待」は、日本のSFの先駆でもある。「柳生忍法帖」ほかの「忍法全集」を刊行、柳生十兵衛を主人公の作品を書きたいと思うようになる。

大学紛争始・1965=43歳:

師乱歩が死去。ワグナー音楽祭ツアー広告に惹かれた高木彬光に誘われ、初の海外旅行。

いざなぎ景気1966=44歳:

多摩市桜ヶ丘に家を建て、大泉から転居。彬光にゴルフの先生まで教えられ、自宅でクラブを振る。

美濃部都知事1967=45歳:

大作「妖説大聞記」。**その後の作品集「風太郎忍法帖」全十巻。忍法帖の最高傑作「おぼろ忍法帖」、**

霞ヶ関ビル・1968=46歳:

妻とヨーロッパ旅行。「**忍法剣士伝**」「**天の川を斬る**」「**秘書**」、

全共闘ピーク・1969=47歳:

「**忍法封印**」「**天保忍法帖**」「**妖の忍法帖**」「**海鳴り忍法帖**」、この年には忍法帖を止めようとし、

大阪万博・1970=48歳:

長編は「忍法創成記」が最後で、以後は短編ばかりになる。

ドルショック・1971=49歳:

主要作品をまとめた「全集」全十六巻刊行(3年間)。昭和二十年の日記「戦中派不戦日記」を刊行して話題、中井英夫が評価している。「幕末もの」の力作短編を発表し始めるが、

石油ショック 1973=51歳:

最初の幕末もの短編集「斬狂状は馬車に乗って」を刊行。昭和十七年から十九年の日記「滅失への青春戦中派ゆけら日記」は、中井英夫がさらに高く評価。「明治もの」に転じて、本格的に展開。

角栄金脈辞任 1974=52歳:

「武蔵野水滸伝」。(週刊詳説)に発表した「**開化の忍者**」が最後の忍法帖で、全部で111作になった。

ケラブル事件 1975=53歳:

「侍よさらば」。**記念すべき第一作「警視庁草紙」に続いて、**

田中角栄逮捕 1976=54歳:

「**叛旗兵**」「**御用侠**」。「**幻燈辻馬車**」、

JALハッキング 1977=55歳:

「**山田風太郎傑作選**」全四巻。「**地の果ての獄**」と傑作が続く。

成田衝突・1978=56歳:

「**魔群の通過**」。「**山田風太郎怪奇小説集**」全四巻。

革新大敗北・1979=57歳:

「**明治断頭台**」。初のエッセイ集「**風眼抄**」。太平洋戦争の膨大な記録を博引傍証する「**同日同刻**」を刊行。

1981=59歳:

「**明治波濤歌**」、

中曽根内閣・1982=60歳:

デイズニエラント 1983=61歳:

「**八犬伝**」。「**エドの舞踏会**」、

1984=62歳:

「**ラスプーチンが来た**」、

ジャコフ機墜落 1985=63歳:

バブル始・1986=64歳:

「**旅人 国定龍次**」。**多数の歴史的人物の死に際の実録のみ集めた奇書「人間臨終図巻上巻」、**

竹下登内閣・1987=65歳:

異色の長編「**神曲崩壊**」。「**人間臨終図巻下巻**」を刊行、大きな話題を呼んだ。

リクルート事件・1988=66歳:

「**明治十手架**」、

昭和天皇没・1989=67歳:

「**明治パベルの塔**」。次いで、「**室町もの**」といわれる新たな境地を開くが、

ドイ統一・1990=68歳:

「**婆沙羅**」、

ソ連崩壊・1991=69歳:

「**室町お伽草紙**」。**三編の長編を書いただけで、「柳生十兵衛死す」を連載、**

バブル崩壊・1992=70歳:

「**柳生十兵衛死す**」を刊行、小説は終わりになった。

55年体制終・1993=71歳:

自社さ連立・1994=72歳:

「**山田風太郎傑作忍法帖**」全十三巻。

村山内閣事件・1995=73歳:

「**朝日新聞**」に「**あと千回の晩飯**」を連載中、師乱歩と同じ、糖尿病とパーキンソン病で入院。**{文藝界}で、山田風太郎特集。関川夏央によるインタビュー「戦中派天才老人・山田風太郎」刊行。**

1996=74歳:

白内障の手術。「山田風太郎傑作忍法帖」第二期全十巻、「山田風太郎傑作大全」全二十四巻の刊行始まる。「コレドオシマイ」を刊行。{東洋人}で、山田風太郎特集。

金融破綻・1997=75歳:

「**山田風太郎明治小説全集**」全七巻刊行。菊池寛賞。「一冊の本」「ちくま」でも特集。

1998=76歳:

「**風太郎の死ぬ話**」「**いまわの際に言うべき一大事はなし**」。講談社文庫「**山田風太郎忍法帖**」全十四巻。

石原都知事・1999=77歳:

「BRUTUS図書館山田風太郎」。

2000=78歳:

第四回日本ミステリー文学大賞。

9.11テロ・2001=79歳:

「**ぜんぶ余録**」刊行後、肺炎のため、**乱歩の三十七回忌の日に、没した。**

別冊太陽「山田風太郎」、